

株式会社ナガヨシ (介護) : データ・デジタル技術を用いた新規事業検討

パターン③: 新規事業

参加者

企業



社名	株式会社ナガヨシ
業種	介護保険サービス事業
事業概要	介護保険サービス事業所として主に福祉用具のレンタル・販売・住宅改修の事業を行っている
所在地 (都道府県)	大分県 豊後大野市

参加した
受講生
の概要



チーム名	Lucky DX スクラムレジエンス
チーム人数	5人
スキル・PR	ITシステム開発経験、IT・DXプロジェクトにおける要件定義の経験 (上流の経験) あり。穏やかなメンバーが揃っている。
進める中で工夫したこと	堅苦しい空気にならないように、穏やかな雰囲気作りを行うようにしたこと。

実施概要

課題内容

IoT機器を活用した新規サービスを構築することで、介護業界をより良くしたい

- 日本の高齢化率が高まり、介護従事者などの人手不足が深刻化している
- 老々介護、独居老人の増加も顕在化している
- IoT機器活用により、被介護者・介護従事者にとって、より良い状態を作りたい



実施した検討内容

新規サービス内容をすり合わせし、サービスで活用するIoT機器候補を調査

- 企業様の構想に対するヒアリング・意見交換を通じて、新規サービスのターゲット像、サービス内容をすり合わせし、明確化
- 新規サービス内容を踏まえ、活用するハードウェアについて、その候補を調査



検討の成果

新規サービスで活用するIoT機器候補を提案

- 新規サービスで活用するハードウェア候補等を提案した
- テスト導入を実施できる見込みを得た
 - 企業様の検討が進み、早ければ数ヶ月以内にテスト導入実施の目処が立った

株式会社ナガヨシ (介護) : データ・デジタル技術を用いた新規事業検討

パターン③: 新規事業

実施内容の詳細

新規サービスの事業化に向けた検討（下記8点）を実施

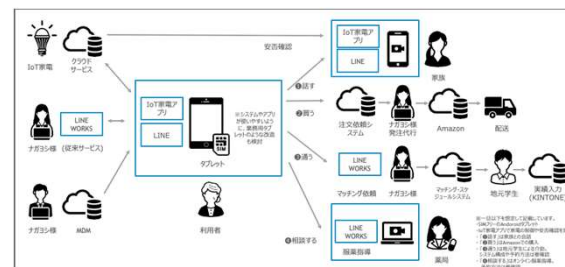
- ヒアリングを通じたターゲット像の明確化
- 提供サービス内容の検討
- データ分析による現状の可視化
- ハードウェアの調査・提案
- モバイルデバイス管理ツールの調査・提案
- システム概要図の作成
- テスト導入計画案の作成
- 収益性の試算

成果

ハードウェア候補を提案し、事業化に向けて確実な一歩を踏み出すことができた

- 新規サービスで活用するハードウェア候補を提案し、システム概要図を作成した。

メーカー	SAMSUNG		Lenovo		Alwa		Orbic		Amazon				
機種	Galaxy Tab A		Galaxy Tab A9+(Wi-Fi)		M10 HD		Bシリーズ		alwa tab A/B10L JA3-TBA1005 SIMフリー		Orbic TAB8 4G ORB8L1TB-RW/JP		Echo Show 8 第2世代
価格	35,640		35,799		35,800		24,860		19,655		24,516		11,170
SIM使用可否	×		×		×		×		○		○		×
メモリ (GB)	3		4		3		3		3		3		非公開
CPU	Octa Core 1.8GHz/2+1.6GHz/6		オクタコア 2.2GHz, 1.8GHz		Helio P22T 2.3GHz+1.8 GHz		Unisoc T610 プロセッサ		MediaTek MT8766(Cortex A53)/2GHz		Qualcomm® Snapdragon™ 680 4G		MediaTek MT 8183
インカメラ画素数(MP)	5		5		5		5		5		5		13



- 検討がスムーズに進行し、テスト/本格導入を、想定よりも早く実施できる見込みを得た。

	目指す状態	内容	実施時期（イメージ含む）		
サービスの設計	ターゲットの明確化	誰に（どのような属性の人）にサービスを提供するのか、明確化できている状態。	サービス導入時にターゲットとするユーザー像について、ナガヨシと情報交換しながら、関係者で共通認識を持つ。	～2023年12月上旬 ⇒ プロジェクト内で実施	✓
	提供するサービス内容の検討	どのようなサービスを提供するのか、具体的に検討できている状態。	オンライン通話を活用した高齢者へのサービス提供を前提として、「話す」「買う」「通う」「相談する」の内容を具体化する。	～2023年12月中旬 ⇒ プロジェクト内で実施	✓
	サービス提供方法の検討	ユーザーがどのようにサービスを利用する形が適切か、具体的に検討できている状態。	オンライン通話で利用するハードについて、候補を出し、比較対照表を作成する。また、ソフト（UI・UX含む）も具体化する。	～2024年1月上旬 ⇒ プロジェクト内で実施	✓
事業化の検討	テスト導入	サービス（試作版）を、想定ユーザーに利用してもらい、そこで得られたフィードバックをもとに、改良する。	サービスの試作版を作り、想定ユーザーに利用してもらい、そこで得られたフィードバックをもとに、改良する。	～2024年6月 ⇒ テスト導入の計画案のみ、プロジェクト内で策定	✓
	ビジネス設計	事業計画ができており、関係者の合意が得られる状態。	事業として成立させるための数値計画を作成し、必要な外部パートナーを含めて合意できるようにする。	～2024年10月 (テスト導入を並行して実施できると良い)	✓
	本格導入	サービスを正式リリースできる状態。	本番実装を完了し、運用方法を定めてサービスを正式リリースする。	2024年12月 (プロジェクト開始1年での本格導入を目指す)	今後